

弘法寺山門



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	こうぼうじさんもん
所在地	瀬戸内市牛窓町千手
指定年月日	平成7年4月7日
解説	享保8年(1723)に再建された。桁行三間(7.74m)、梁間二間(4.65m)、棟高12.65m。三間一戸の重層門である。入母屋造、本瓦葺、大棟に鯨を上げ、坪みに鱧付蕪懸魚を吊る。軒は、二重が唐様の二軒扇垂木、初重が和様の二軒繁垂木。斗拱は、二重が二手先、初重が出組で、いずれも支輪をもっている。軸部は木割の大きな柱(径38cm)、台輪、貫を使用している。大工は邑久郡山田村(現在邑久町上山田)の尾形久兵衛である。
アクセス方法	ブルーライン邑久ICから車で約15分
公開状況	外観のみ
設備	
備考	